

留 学 報 告 書

記入日:2020年7月15日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部国際日本学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ネバダ大学リノ校 現地言語: 英語
留学期間	2019年8月～2020年3月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2020年3月15日
明治大学卒業予定年	2022年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月下旬～12月中旬 2学期:1月中旬～5月中旬 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	20194(2018年)
創立年	1874年

留学費用項目	現地通貨 ()	円	備考
授業料	700	70000円	授業料はかからないが諸費はかかる
宿舍費	3800	380000円	半期
食費	3000	300000円	ミールプラン
図書費	200	20000円	教科書
学用品費		円	特になし
携帯・インターネット費	200	20000円	Simカード代
現地交通費		円	リノ内のバスは学生無料(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	1400	140000円	
被服費	500	50000円	
医療費	0	0円	
保険費	1200	120000円	形態:
渡航旅費	1500	150000円	
ビザ申請費	160	16000円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計	12660	1400000円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:成田 目的地:リノ 経由地:サンフランシスコ 復路 出発地:リノ 目的地:成田 経由地:ロサンゼルス	
渡航費用	
①往復チケットを購入した場合 航空会社: _____ 料金: _____	
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: ユナイテッド 料金: 約10万円 復路 航空会社: ユナイテッド 料金: 約5万円 ∴合計: 約15万円	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: _____) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: _____) <input checked="" type="checkbox"/> その他(航空会社のアプリ)	
滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: Wolf Pack Tower) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 _____)	
3)共有部分	
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
学校からのお知らせのメールから学校公式のウェブサイトから申請。	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
自身の留学が始まる直前に留学先の最も大きな寮が設備不良により爆発事故がおこったため、大学側が貸し切ったホテルに滞在していた。設備は完全なホテルであったため、特に不満はなく快適であった。しかし、来年度以降は工事も完了し従来の寮に戻るらしい。そのため私の経験はあまり参考になりませんが大学には新しいものから古いものまで様々な寮があります。しかし、ハウジングオフィスの対応は早いとは言えず、手違いも多くあります。そのため私は学校近くのインターナショナルハウスをおすすめします。そこには日本人の友人も何人か住んでいました。基本的には各国からの留学生とともに生活することができる上に寮と違い一人部屋に住むことも容易です。マネージャーの方もとても親切でそこに住んでいない私にさえサポートやイベントへの招待をしていただきました。興味がありましたらウェブサイトや私からの紹介をすることもできるので連絡をください。	
現地情報	
1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所: _____)	
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等: _____)	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
基本的にそこまで治安の悪い地域ではなかった。しかし、夜にはホームレスや不審者が多く見られるため注意は必要である。特にダウンタウンでは気をつけておく必要がある。ダウンタウンの中でもバス乗り場周辺にはそのような人が多く見受けられる。遠くから大きな声で絡まれたというような経験は何回もあったが、直接的な危害を加えられたことはない。	

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

携帯電話は日本で使っていた携帯のSimロックを解除し、入学資料とともに送られてきたSimカードを使用していた。これは値段は低く抑えることができたがお世辞にも通信速度は早いということではできないので、それを使用するのではなく現地でベライゾンなど大手の通信会社のものを使用することをおすすめする。しかし、そのSimカードは日本出発前から設定できアメリカについた瞬間から使うことができるので最初の1ヶ月程度契約しておくのは良いかもしれない。また校内ではWi-Fiがどこでも飛んでいるのでネットワークに困ることはなかった。寮においても基本的にトラブルはなかったが、人が多く使っている時間帯は寮に限らずどこにおいても速度低下の可能性は高い。

5)現地で外国の資金調達はどのように行いましたか？(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地で銀行口座は開設しなかった。日本出発前に3~4万円をほどドルに両替していき、どうしてもキャッシュを使わなければいけない場合はそれらから支払った。しかし、基本的にはクレジットカードを利用しており、使えない場合はほとんどなかった。キャッシュが必要になった場合は現地のATMから日本の口座のデビットカードを使用し引き落とすことで手数料のみで日本の口座から直接引き落とすことができた。クレジットカードで同様のことをするとキャッシングになってしまうので注意。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

特になし。大きい街ではありませんが、アジアマーケットはいくつもあり、中でも韓国系のもものでは数多くの日本の食品を扱っていた。また、車で2時間ほど先にあるサクラメントに行けばダイソーもあるのでそこで必要な雑貨などは手に入れることができる。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
15単位	<input checked="" type="checkbox"/> 13単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？ 交換留学生では履修できない科目がある。現地のアドバイザーと話すことで履修できるようになる可能性もある。	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
ESL-Listenig Skill	英語 リスニング
科目設置学部・研究科	
履修期間	1学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Yun Somi
授業内容	留学生向けの英語の授業。アメリカでの大学の授業の受け方やノートテイキングなどを学んだ。
試験・課題など	試験が3回。それに加え自身でリスニングジャーナルを製作・提出することが主な評価の対象。
感想を自由記入	実践的な内容であったので使えるスキルもあったが、十分日本で学習できる内容であった。授業開始前の英語のテストのスコアによって4技能、どの授業を受けるのかが決まるのだが、事務所に別途相談すれば履修義務がなくなる可能性があるため一度は確認するべき。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Cultural Anthropology		文化人類学入門	
科目設置学部・研究科	人類学		
履修期間	1学期間		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に165分が1回		
担当教授	Christine Johanson		
授業内容	文化人類学、ひいては人類学に関し基礎的なことを地元のゲストスピーカーなども交え学んでいく。		
試験・課題など	2回の定期テスト。3回のショートペーパー。		
感想を自由記入	内容は教科書に沿った基本的な内容であったため理解することも難しくなかった。課題も少ない方ではなかったが適切なガイドラインが示され、サポートも手厚かった。またテストも難しいものではなかったので良い成績を収めることもできた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
IContemporary Diversity		現代のダイバーシティ	
科目設置学部・研究科	不明		
履修期間	一学期間		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に165分が1回		
担当教授	Jody Lykes		
授業内容	アイデンティティ、セクシャルリティ、人種の3つの観点から現代アメリカのダイバーシティについて学んでいった。内容は主に米国での黒人差別の歴史であった。		
試験・課題など	試験はなし。論文を読みそれに対する意見を書くペーパー、自身のアイデンティティに関するペーパー。ファイナルの課題としてグループでの動画製作。		
感想を自由記入	期待していた内容とは少しことなり、白人文化対黒人文化が授業のメインに据えられていた。アメリカでのリアルな現状を知ることができ、留学生にも親切であったが、『ダイバーシティ』と言えるような科目ではないので注意は必要。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Media and Society		メディアと社会	
科目設置学部・研究科	ジャーナリズム		
履修期間	1学期間		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Shelia Peuchaud		
授業内容	ジャーナリズムの入門的内容。メディアとはなにか、またそれがどのように社会に影響しているのかを学んだ。		
試験・課題など	試験4回。グループで取り組むペーパーが一回。		
感想を自由記入	もともと興味があった内容であり、それがどのようにアメリカで教えられているのかを学べてよかった。著名な方もゲストスピーカーとして登壇することもあった。しかし、最後のグループワークはメンバーによっては難しくなるケースもある。そもそも3、4人で一つのレポートを書くことが難しい。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Topics in Race and Racism : Contemporary Indigenous issues	人種と人種差別
科目設置学部・研究科	民族学
履修期間	1学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Debra Harry
授業内容	ネイティブ・アメリカンの歴史について。
試験・課題など	試験が2回。毎週授業後の振り返り課題。
感想を自由記入	授業名から広い意味での人種差別をテーマにした授業だと思っていたが、内容はネイティブ・アメリカンについてのものであった。内容は専門用語等難しい部分もあったが、毎週の課題をこなし、テスト勉強をしっかりとすれば良い成績をとることもできる。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前,あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例:留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い, 留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2018年 1月～3月	英語学習
4月～7月	英語学習
8月～9月	TOEFL 対策、出願する国の生活やその国の学校について調べ始める
10月～12月	TOEFL 受験、留学希望校検討、志望理由書
2019年 1月～3月	留学先出願、滞在先の確定など諸手続き
4月～7月	航空券手配、ビザ申請、予防接種
8月～9月	留学開始。
10月～12月	1学期目終了。
2020年 1月～3月	2学期目開始
4月～7月	コロナウイルスの影響で途中帰国
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

UNR を選んだ理由は、アメリカに留学するなら大きすぎず小さすぎない街を選ぼうという思いが一番強かった。もし大都市に行ってしまうと、そこには日本人のコミュニティが存在し日本人だけとともに行動してしまう可能性を危惧していた。また更に、ダイバーシティについて学んでいたため、ダイバーシティ先進国のアメリカの実情を知りたかった。アメリカの大都市ではすでにダイバーシティにかなり富んでいると予想し、アメリカの正確な現状を知るためには小さめの都市に滞在する必要があるという考えに至った。その点リノは非常に「丁度いい」都市であった。サクラメントやサンフランシスコといった大都市にも近く、街自体も決して大きな街ではないが生活にこまるほどではない。さらには、白人が人口のマジョリティーを占めていた。しかし、学校に日本語学科があるのも大きな魅力である。学校に交換留学している日本人は10人から20人と決して多くはない。しかし、日本語学科があるため日本に興味がある学生は一定数存在し、現地の日本人教授が日本人留学生と日本語を学ぶ現地学生とのマッチアップを行っており、そこを活用し友人を作ることができた。さらには先述したインターナショナルハウスのオーナーが頻繁にイベントを行っており現地の友人を作ることも難しくはなかった。キャンパスには古い建物と新しい建物が広大な敷地に混在していた。様々な店もキャンパス内にあったため不便を感じることはなかった。

留学を志すみなさん、まずはしっかりとなぜ自分が留学に行きたいのか改めて考えてみましょう。英語を学びたいだけならヨーロッパ圏でも日本でも学ぶことはできます。また、留学に行ったからといって自動的に何かが入るわけはありません。留学が始まったら何事にも積極的に取り組んでください。また、なにか悩んでいる方がいたら、是非力にならせてください。特にアメリカや UNR への留学を考えているみなさん。